

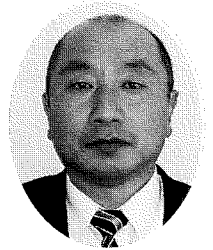
# 農業委員会広報

# さわやか

平成 27 年 6 月 19 日

第 18 号

発行 三戸町農業委員会  
電話 (0179) 20-1156



ご挨拶

三戸町農業委員会  
会長 大平 憲男

三戸町農業委員会広報誌「第十八号さわやか」の発行にあたりご挨拶申し上げます。

昨冬は、気温が高く雪も少ない記録的な暖冬となり、年明け後も気温が高めに推移したことから例年よりも雪融けが早まり、農作業が進んでいることと存じます。

昨年を振り返って見ますと、春先のサクランボは開花時の降霜や雨量不足による乾燥などで不作でありましたが、そのほかの農産物は順調に生育し、りんごは収量価格とも平年並み、水稲では作況指数が106の「良」と豊作の出来秋となりました。結果的にはそのことも一因となり、米価が採算ラインを割る水準の過去最低額となり経営意欲の減退を招き、離農者や耕作放棄地が増加するのではな

いかと懸念しているところですが、今、政府では、農業委員会の組織委改革のため「農業委員会等に関する法律」などの関係法令の改正法案が今開会中の国会

に提出されることとなっております。これは「農林水産業・地域の活力創造プラン」に明記された「強い農林水産業」の確立に向けた一つの取り組みであり、公選の廃止による選任方法の見直し、農業委員の定数削減と農地利用最適化推進委員の新設などが盛り込まれ、農村・農業の発展のため、農業委員会組織が持つ役割やその機能に対し、より一層の期待が寄せられるところでもあります。

改正法案の制定後は、新たな農業委員会の組織を構築し、農業者の公的代表として、担い手農家の育成・確保、農地の有効利用など、三戸町の農業の振興発展のための体制づくりを整えて行く所存ですので、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、今年も自然災害がなく穏やかな一年となり、農作物が豊作で、皆さまにとって喜び多き年になりますようご祈念申し上げます。

## 平成 27 年度三戸町農業委員会定例総会の日程

農業委員会では、農地法に基づく農地の貸借・売買・転用等の許可、権利設定について毎月総会を開催し審議しております。

今年度の開催予定は右記のとおりですが、諸般の事情により変更することがあります。

申請内容や申請書類については、事前に農業委員会で確認ください。

今年度から農地法第3条についても現地調査を実施することにしましたので、申請の締切り日を変更しました。ご注意ください。

	総会開催日	申請締切り日
4月	4月20日(月)	4月3日(金)
5月	5月20日(水)	5月1日(金)
6月	6月19日(金)	6月5日(金)
7月	7月17日(金)	7月3日(金)
8月	8月20日(木)	8月5日(水)
9月	9月18日(金)	9月4日(金)
10月	10月20日(火)	10月5日(月)
11月	11月20日(金)	11月5日(木)
12月	12月18日(金)	12月4日(金)
1月	1月20日(水)	1月5日(火)
2月	2月19日(金)	2月5日(金)
3月	3月18日(金)	3月4日(金)

# 農地の借受希望者の募集と、農地の貸付希望者の受付開始

～ 農地中間管理事業で有利に規模拡大を！～

公益社団法人あおもり農林業支援センターでは、昨年、県から農地中間管理機構の指定を受け、農地中間管理事業を実施しています。

この事業は、経営規模を縮小する出し手農家から機構（支援センター）が農地を借り入れ、公募に応募し公表された規模拡大する受け手農家に、まとまった農地を貸し付けるものです。

受け手の公募は、機構（支援センター）のホームページに掲載するほか、三戸町農業委員会の窓口に応募用紙を用意してありますので、是非応募してください。

また、農地を機構に貸したい希望者（出し手）についても受け付けていますので、三戸町農業委員会に問い合わせください。

事業の要件など詳細については、三戸町農業委員会、機構又は機構地域担当（三八地域県民局に配置）へご相談ください。

## 【お問い合わせ先】

公益社団法人あおもり農林業支援センター

電話：017-773-3131

○各地域担当

三八担当：090-1490-1336



## 平成26年度中に機構への貸出しの申し込みのあった農地

所在	地目	筆数	面積 (㎡)	備考
川守田字落合	畑	1	205	休耕
川守田字落合	田	1	426	休耕
梅内字梨ノ木平	畑	2	9,495	休耕
豊川字田ノ沢上久保	田	2	2,707	維持管理
斗内字上別当沢	畑	1	5,370	野菜
斗内字和田	田	1	1,378	水稲
袴田字杉屋敷	田	10	16,217	維持管理
梅内字沼尻	田	2	6,715	水稲
計		20筆	42,513	

耕作をやめたいと考えてる方、機構に農地を貸し付けください。

注) 農地を借りる方がいないときなど、機構が農地を借り受けしないことがあります。

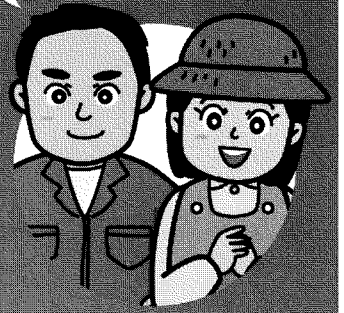
また、機構が農地を借り受けするまでは、所有者自身が農地を管理することになります。

農地を借りたいと考えている方、機構への登録が必要となりますが、お気軽に農業委員会へご相談ください。

三戸町農業委員会 20-1156 (直通)

# 農業者年金の 政策支援加入で 将来の安心を!

～39歳までの皆様へ



## 政策支援

農業者の担い手には、手厚い政策支援(保険料の国庫補助)があります。

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- ① 39歳までに加入
- ② 農業所得が900万円以下
- ③ 認定農業者で青色申告者等(下表)を満たせば受けられます。

### 保険料の国庫補助対象者と補助額

区分	必要な要件	国庫補助額	
		35歳未満	35歳以上
1	認定農業者で青色申告者	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
2	認定就農者で青色申告者	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
3	区分1又は2の者と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者または後継者	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円 (3割)	4,000円 (2割)
5	35歳まで(25歳未満の場合は10年以内)に区分1の者となることを約束した後継者	6,000円 (3割)	-



※国庫補助額は月額保険料月額2万円で固定に対する補助額(割合)です。  
 ※区分3及び区分5の「後継者」は経営主の直系卑属である必要があります。  
 ※35歳未満で加入した者は、35歳から自動的に35歳以上の額に変更されます。  
 ※区分1～5のそれぞれの要件に該当しなくなった場合、他の区分(国庫補助額が減額になることがあります。)又は通常の保険料への変更が必要です。

- 政策支援を受けられる期間は最長20年間です。(35歳以上の支援は最長で10年間です。)
- 国庫補助を受けている間の保険料は月額2万円(国庫補助額を含む)で固定され、加入者が負担する保険料は、2万円から国庫補助額を差し引いた額になります。
- 国庫補助を受けられる期間を過ぎた場合は通常の保険料(月額2万円～6万7千円の間で千円単位で選べ、変更も自由です。)になります。

# 平成27年度 農作業標準賃金

平成27年度の農作業標準賃金が、次のとおり決まりました。

この賃金表は、普通の農地についての標準額ですので、作業賃金を決める際は年齢・労働条件・その他の事情等を考慮し、両方で協議のうえ決めて下さい。

## 1. 作業賃金（1日当たり）

※8時間労働、賄いなしを原則

区 分		金 額	割 増 料
水田	田植・稲刈	5,500円	1時間当たり 860円
	除草・脱穀	5,500円	
	水田作業全般	5,500円	
りんご	剪 定	8,300円	1,300円
	袋かけ・摘果	5,500円	1時間当たり 860円
	収 穫	5,500円	
葉タバコ作業全般	5,500円		
にんにく		5,500円	
畑作全般		5,500円	

## 2. 農業機械（10a 当たり）

※賄いなしを原則・機械にはオペレーター等1人付き

区 分		金 額	割 増 料
水田	耕 起	5,500円	区画整理田を 標準とする
	代 か き	6,000円	
	田植機(苗別)	6,000円	
	脱穀(ハーベスタ)	6,000円	
田 稲刈	バインダー(紐別)	5,500円	60Kg 当り
	コンバイン(紐別)	13,000円	
	乾燥機(生脱穀)	1,300円	
畑作業全般		5,500円	

## ■平成27年度の賃借料情報

平成21年1月1日～平成26年12月31日までに締結（公告）された農地賃貸借における賃借料水準（10a 当たりの年額）は、以下のとおりとなっています。（農業委員会に届出のあった過去6年間35件分の集計です。）

### 農地賃借料（10a 当たり）※三戸町全域

農地の区分	平均額	最高額	最低額	データ数
全農地	10,000円	26,600円	1,100円	35件
うち田(水稻)	9,700円	15,400円	3,400円	10件
葉タバコ	16,700円	26,600円	8,800円	4件
ニンニク	10,600円	16,700円	6,400円	8件
リンゴ	7,900円	11,800円	4,800円	7件
その他野菜	7,400円	10,200円	1,100円	6件

## 全国農業新聞

かつ、読者のための情報紙  
 農業者年金及び農業・農村の動き新経営戦略や  
 営農技術流通などの情報が満載です。

発行日 毎週金曜日 ○講読料 1ヶ月700円  
 お申し込みは農業委員会事務局へ (201156)